

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成31年1月11日

協議会名： 帯広市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
大正交通有限会社	帯広市街地便 大正地区～愛国町～帯広厚生病院	今年度より補助対象のため前回の事業評価なし	A	計画通り事業は適切に実施された。	B 大雪等の影響により2～3月の利用が低調であったこと等により、年間利用者数は目標4,376人(1便あたり3.8人)に対し3,956人(1便あたり3.8人)であった。	多くの利用が見込まれる大正地区内の高齢者を中心に、ニーズの把握や利用方法の周知などの利用促進策を実施し、利用者の増加を図る。
大正交通有限会社	大正地区内巡回便 大正地区	今年度より補助対象のため前回の事業評価なし	A	計画通り事業は適切に実施された。	A 3月の利用は低調であったものの、全体を通して利用者数が概ね順調に推移したことにより、年間利用者数は目標1,577人(1便あたり2.1人)に対し1,638人(1便あたり2.8人)であった。	多くの利用が見込まれる大正地区内の高齢者を中心に、ニーズの把握や利用方法の周知などの利用促進策を実施し、利用者の増加を図る。
毎日交通株式会社	八千代線 八千代地区～川西市街～帯広厚生病院	今年度より補助対象のため前回の事業評価なし	A	計画通り事業は適切に実施された。	B 4月以降、利用者の約半数を占める中学生の八千代線への振り分けが多かったこと等により、年間利用者数は目標4,163人(1便あたり4.2人)に対し4,986人(1便あたり3.9人)であった。	通院・買い物での利用が見込まれる地域内在住の高齢者に対するニーズ把握や利用方法の周知を実施するとともに、観光客への利用方法等のPRを実施し、利用者の増加を図る。
毎日交通株式会社	戸蔦線 戸蔦地区～川西市街～帯広厚生病院	今年度より補助対象のため前回の事業評価なし	A	計画通り事業は適切に実施された。	B 4月以降、利用者の約半数を占める中学生の八千代線への振り分けが多かったことに加え、冬期間の利用者がやや低調であったこと等により、年間利用者数は目標7,160人(1便あたり4.9人)に対し5,949人(1便あたり5.0人)であった。	通院・買い物での利用が見込まれる地域内在住の高齢者に対するニーズ把握や利用方法の周知を実施するとともに、観光客への利用方法等のPRを実施し、利用者の増加を図る。